

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-046435

(43)Date of publication of application : 14.02.1997

(51)Int.Cl.

H04M 3/42
H04M 3/56
H04N 7/14
H04Q 3/545

(21)Application number : 07-193068

(71)Applicant : MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

(22)Date of filing : 28.07.1995

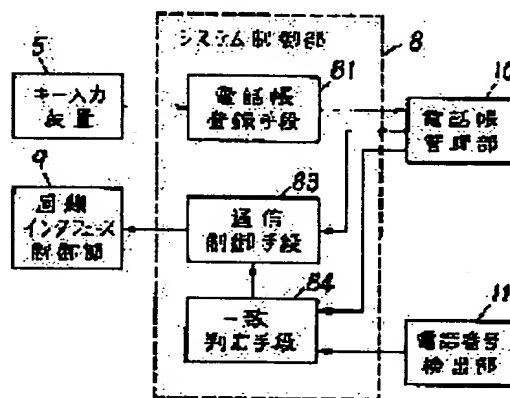
(72)Inventor : TOYOMURA NORIHIRO
INOUE AKIHIRO

(54) VIDEO TELEPHONE SYSTEM AND VIDEO TELEPHONE COMMUNICATION METHOD

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To change the privacy mode used during speech into a mode set by an electronic telephone directory by providing a telephone directory registration means registering the privacy mode and telephone numbers to a telephone directory management section.

SOLUTION: A system control section 8 displays a menu onto a display device 4 via an image codec section 7. In this case, when a key entry device 5 is used to select an item of a telephone directory registration on a menu pattern, a telephone directory registration means 81 of the system control section 8 sets each item. When the privacy mode is set, a communication control means 83 uses a prescribed electronic telephone directory to send a call signal to a line interface control section 9. The control section 9 receiving the call signal sends only voice data. When the setting of the privacy mode is cleared, communication by voice and image is started.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

06.07.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

17.06.2003

[Kind of final disposal of application other than the
examiner's decision of rejection or application converted
registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of
rejection]

2003-13713

[Date of requesting appeal against examiner's decision of
rejection]

17.07.2003

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-46435

(43)公開日 平成9年(1997)2月14日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M	3/42		H 0 4 M	3/42 Z
	3/56			3/56 C
H 0 4 N	7/14		H 0 4 N	7/14
H 0 4 Q	3/545		H 0 4 Q	3/545

審査請求 未請求 請求項の数6 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平7-193068

(22)出願日 平成7年(1995)7月28日

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社
大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 豊村 紀宏

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 井上 明裕

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

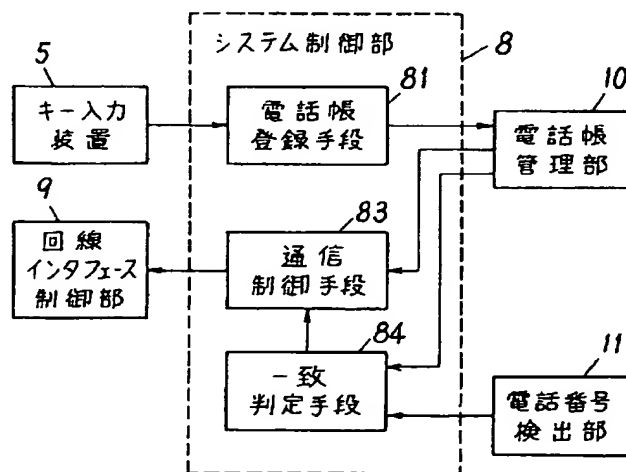
(74)代理人 弁理士 滝本 智之 (外1名)

(54)【発明の名称】 テレビ電話装置およびテレビ電話通信方法

(57)【要約】

【目的】 電子電話帳へのプライバシーモードの設定を可能にすることにより、電子電話帳を使用して発呼する場合に予め設定されているプライバシーモードで通信できるようにしたテレビ電話装置およびテレビ電話通信方法を提供することを目的とする。

【構成】 画像および音声による通信が可能なテレビ電話装置であって、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部10に登録する電話帳登録手段81と、電話帳管理部10に登録された電話番号をダイヤルする場合には電話帳管理部10に登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行う通信制御手段83とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】画像および音声による通信が可能なテレビ電話装置であって、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録手段と、前記電話帳管理部に登録された電話番号をダイヤルする場合には前記電話帳管理部に登録された前記電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行う通信制御手段とを備えたことを特徴とするテレビ電話装置。

【請求項 2】前記電話帳登録手段は、前記電話帳管理部に登録されたプライバシーモードの内容をキー入力操作により変更することが可能であることを特徴とする請求項 1 記載のテレビ電話装置。

【請求項 3】前記通信制御手段は、前記登録されたプライバシーモードがオンの場合には音声データのみを送信し、前記登録されたプライバシーモードがオフの場合には音声データと画像データを送信することを特徴とする請求項 1 記載のテレビ電話装置。

【請求項 4】画像および音声による通信が可能なテレビ電話装置であって、着信の際に受信した電話番号を検出する電話番号検出部と、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録手段と、前記電話番号検出部で検出した電話番号が前記電話帳管理部に登録されているか否かを判定する一致判定手段と、前記電話番号検出部で検出した電話番号が前記電話帳管理部に登録されていると前記一致判定手段が判定したときにはその電話番号に対応して前記電話帳管理部に登録されている情報に基づいて通信を行う通信制御手段とを備えたことを特徴とするテレビ電話装置。

【請求項 5】画像および音声による通信が可能なテレビ電話通信方法であって、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録ステップと、前記電話帳管理部に登録された電話番号をダイヤルする場合には前記電話帳管理部に登録された前記電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行う通信制御ステップとを有することを特徴とするテレビ電話通信方法。

【請求項 6】着信の際に受信した電話番号を検出し、画像および音声による通信が可能なテレビ電話通信方法であって、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録ステップと、前記検出した電話番号が前記電話帳管理部に登録されているか否かを判定する一致判定ステップと、前記検出した電話番号が前記電話帳管理部に登録されていると判定したときには前記検出した電話番号に対応する情報に基づいて通信を行う通信制御ステップとを有することを特徴とするテレビ電話通信方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、画像信号や音声信号の通信機能を有するテレビ電話装置および画像信号や音声信号を通信するテレビ電話通信方法に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、ディスプレイ端末により加入者自身が電話番号探しを行う電子電話帳が普及しつつある。テレビ電話装置はこの電子電話帳の機能を持っており、この機能により名前や電話番号を登録でき、登録しておく、ダイヤル入力をしなくても登録した相手に発呼できる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来のテレビ電話装置では、通信の際に画像を相手に送信するか否かの設定ができるプライバシーモードが登録されていないので、電子電話帳の機能を使用して発呼する場合にプライバシーモードを設定したいときにはその都度、通信前か通信中に設定しなければならないという問題点があった。

【0004】本発明は上記従来の問題点を解決するもので、電子電話帳へのプライバシーモードの設定を可能にすることにより、電子電話帳を使用して発呼する場合に予め設定されているプライバシーモードで通信できるようにしたテレビ電話装置、および、電子電話帳を使用して発呼する場合に予め設定されているプライバシーモードで通信を行うテレビ電話通信方法を提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】この目的を達成するために本発明の請求項 1 記載のテレビ電話装置は、画像および音声による通信が可能なテレビ電話装置であって、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録手段と、電話帳管理部に登録された電話番号をダイヤルする場合には電話帳管理部に登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行う通信制御手段とを備えた構成を有している。

【0006】請求項 2 記載のテレビ電話装置は、請求項 1 記載のテレビ電話装置において、電話帳登録手段が、電話帳管理部に登録されたプライバシーモードの内容をキー入力操作により変更することが可能である構成を有している。

【0007】請求項 3 記載のテレビ電話装置は、請求項 1 記載のテレビ電話装置において、通信制御手段が、登録されたプライバシーモードがオンの場合には音声データのみを送信し、登録されたプライバシーモードがオフの場合には音声データと画像データを送信する構成を有している。

【0008】請求項 4 記載のテレビ電話装置は、画像および音声による通信が可能なテレビ電話装置であって、着信の際に受信した電話番号を検出する電話番号検出部と、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録手段と、電話番号検出部で検出した電話番号が電話帳管理部に登録されているか否かを判定する一致判定手段と、電話番号検出部で検出した電話番号

3

が電話帳管理部に登録されていると一致判定手段が判定したときにはその電話番号に対応して電話帳管理部に登録されている情報に基づいて通信を行う通信制御手段とを備えた構成を有している。

【0009】請求項5記載のテレビ電話通信方法は、画像および音声による通信が可能なテレビ電話通信方法であって、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録ステップと、電話帳管理部に登録された電話番号をダイヤルする場合には電話帳管理部に登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行う通信制御ステップとを有する構成を有している。

【0010】請求項6記載のテレビ電話通信方法は、着信の際に受信した電話番号を検出し、画像および音声による通信が可能なテレビ電話通信方法であって、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録ステップと、検出した電話番号が電話帳管理部に登録されているか否かを判定する一致判定ステップと、検出した電話番号が電話帳管理部に登録されていると判定したときには検出した電話番号に対応する情報に基づいて通信を行う通信制御ステップとを有する構成を有している。

【0011】

【作用】この構成によって、電話番号、プライバシーモードに登録し、ダイヤルする場合には登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行うようにしたので、プライバシーモードを予め設定されたモードとすることができる。また、電話帳管理部に登録されたプライバシーモードの内容をキー入力操作により変更することができるようにしたので、通話中に、送信したくない画像を送信停止とすることができる。さらに、登録されたプライバシーモードがオンの場合には音声データのみを送信し、登録されたプライバシーモードがオフの場合には音声データと画像データを送信するようにしたので、予め設定されたプライバシーモードに基づいて、画像データを送信したり、送信しなかったりすることができる。さらに、着信の際に検出した電話番号が電話帳管理部に登録されているか否かを判定し、登録されていると判定したときには上記検出した電話番号に対応する情報に基づいて通信を行うようにしたので、着信時においてもプライバシーモードを予め設定されたモードとすることができる。

【0012】

【実施例】以下、本発明の一実施例について図を用いて説明する。

【0013】図1は本発明の一実施例に係るテレビ電話装置を示す装置ブロック図である。図1において、1はISDN（総合デジタル通信網）回線、2はマイク、スピーカ等から成る音声送受話部、3は画像を撮影するカメラ、4は画像表示やメニュー表示を行う表示装置、5

4

は後述の電話帳管理部10に格納された電子電話帳にプライバシーモードの設定等を行うキー入力装置、6は送受信する音声データの管理およびマイク、スピーカ等から成る音声送受話部2の制御を行う音声コーデック部、7は送受信する画像データの管理およびカメラ3、表示装置4等の制御を行う画像コーデック部、8はテレビ電話装置全体を制御するシステム制御部、9はISDN回線1を通じての通信を制御する回線インタフェース制御部、10はキー入力装置5で操作された電子電話帳のプライバシーモードの設定内容を記憶したり、管理したりする電話帳管理部、11は着信の際に相手から送信されてきた発呼者電話番号を回線インタフェース制御部9を通じて検出する電話番号検出部である。

【0014】図2は、図1の装置を構成するシステム制御部8における機能実現手段を示す機能ブロック図である。図2において、5はキー入力装置、8はシステム制御部、9は回線インタフェース制御部、10は電話帳管理部、11は電話番号検出部であり、これらは図1と同様のものなので、同一符号を付して説明は省略する。システム制御部8において、81は名前、電話番号、通信モード、プライバシーモードを電話帳管理部10に登録するための電話帳登録手段、83は電話帳管理部10に登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を制御する通信制御手段、84は電話番号検出部で検出された相手の電話番号が電話帳管理部10に登録された電話番号か否かを判定する一致判定手段である。

【0015】以上のように構成されたテレビ電話装置について、図1～図3を用いてその動作を説明する。図3は、本実施例に係るテレビ電話装置の電子電話帳にプライバシーモードのオン、オフを設定する場合の動作を示すフローチャートである。まずシステム制御部8は画像コーデック部7を介して表示装置4上にメニューを表示する。このときキー入力装置5によりメニュー画面で電話帳登録の項目を選択すると（S1）、システム制御部8の電話帳登録手段81は名前、電話番号、通信モードを設定するように要請し、この要請に対して上記各項目を設定する（S2）。通信モードとしては1Bと2Bとがあり、1Bは1本の回線を使用して音声と画像のデータを送るものであり、2Bは2本の回線を使用して音声と画像のデータを送るものである。つまり、通信モード1Bと2Bとは画質が異なり、どちらの画質にするかをユーザが選択する。次に、ユーザはプライバシーモードを設定する（プライバシーモードオン）か、或いは設定しない（プライバシーモードオフ）かをキー入力装置5により選択する（S3）。ステップ2において設定された名前、電話番号、通信モードおよびステップ3において設定されたプライバシーモードは電話帳登録手段81を介して電話帳管理部10の所定電子電話帳に登録される（S4、S10、電話帳登録ステップ）。

【0016】通信制御手段83は、プライバシー判定手

段のオン、オフ判定にかかわらず上記所定電子電話帳を使用して発呼するが、まず、プライバシーモードオンの設定がされた場合について説明する。プライバシーモードがオン設定されたときには通信制御手段 83 は上記所定電子電話帳を使用して発呼、すなわち回線インタフェース制御部 9 に発呼信号を送出する (S5、通信制御ステップ)。発呼信号を受けた回線インタフェース制御部 9 は上記所定電子電話帳に登録した通信モードで回線を接続し (S6、通信制御ステップ)、プライバシーモードがオンであるので、音声データのみ送信する (S7、通信制御ステップ)。発呼信号が相手側のテレビ電話装置に着信すると、音声のみの通話が開始される (S8、通信制御ステップ)。通話中に相手に画像データを送りたいときは、キー入力装置 5 をキー操作してプライバシーモードをオフとすることにより、電話帳登録手段 81 を介して上記所定電子電話帳のプライバシーモードがオフとなり、回線インタフェース制御部 9 は画像データを送信し、音声と画像による通話が開始される。相手との話しが終了してオンフックされると、通話が終了して回線が切断される (S9)。

【0017】次に、プライバシーモードがオフに設定された場合について説明する。プライバシーモードがオフ設定されたときにもオン設定と同様に通信制御手段 83 は上記所定電子電話帳を使用して発呼信号を回線インタフェース制御部 9 に送付する (S11、通信制御ステップ)。発呼信号を受けた回線インタフェース制御部 9 は上記所定電子電話帳に登録した通信モードで回線を接続し (S12、通信制御ステップ)、プライバシーモードがオフであるので、音声データと共に画像データを送信する (S13、通信制御ステップ)。発呼信号が相手側のテレビ電話装置に着信すると、音声と画像による通話が開始される (S14、通信制御ステップ)。通話中に相手に画像データを送りたくないときは、キー入力装置 5 をキー操作してプライバシーモードをオンとすることにより、電話帳登録手段 81 を介して上記所定電子電話帳のプライバシーモードがオンとなり、回線インタフェース制御部 9 は画像データの送信を停止し、音声のみによる通話が開始される。相手との話しが終了してオンフックされると、通話が終了して回線が切断される (S9)。

【0018】相手からの着信の際、発呼者の電話番号と電話帳管理部 10 に登録されている電話番号が一致すると、その電子電話帳に登録してある通信モード、プライバシーモードで通信することができる。この動作について以下に説明する。相手からの着信の際、まずシステム制御部 8 の一致判定手段 84 は、電話帳管理部 10 に登録されている電話番号と電話番号検出部 11 で検出された発呼者の電話番号とを比較する。比較の結果、電話番号が一致した場合には、電話帳管理部 10 に登録されている一致した電話番号に対応する通信モード、プライバ

シーモードで回線インタフェース制御部 9 は回線を接続する。このとき、プライバシーモードがオン設定であれば画像データは送信されず、オフ設定であれば画像データは送信される。比較の結果、電話番号が一致しない場合には、電話帳管理部 10 に登録されていない相手からの電話であり、通常は音声と画像のデータが送信されるが、画像を送りたくない場合には、上述したようにキー入力装置 5 をキー操作してプライバシーモードをオンとすることにより、電話帳登録手段 81 を介して電話帳管理部 10 の相手電話番号に対応するプライバシーモードがオンとなり、回線インタフェース制御部 9 は画像データの送信を停止する。

【0019】以上のように本実施例によれば、名前、電話番号、通信モード、プライバシーモードを登録し、ダイヤルする場合には登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を制御するようにしたので、プライバシーモードを予め定設されたモードとすることができ、通話の都度プライバシーモードを設定する煩雑さを解消することができる。また、電話帳管理部に登録されたプライバシーモードの内容をキー入力操作により変更することができるようにしたので、送信したくない画像を通話途中において送信停止とすることができる。さらに、登録されたプライバシーモードのオン、オフに応じて画像データを非送信状態、送信状態とすることにしたので、予め設定されたプライバシーモードに基づいて画像データの有無を決定することができる。さらに、相手からの着信の際に検出した電話番号が登録されているか否かを判定し、登録されていると判定したときには検出した相手の電話番号に対応する情報に基づいて通信制御されるようにしたので、着信時においてもプライバシーモードを予め設定されたモードとすることができ、また、この場合においても電話帳管理部に登録されたプライバシーモードの内容をキー入力操作により変更することができるようにしたので、送信したくない画像を通話途中において送信停止とすることもできる。

【0020】

【発明の効果】以上のように本発明は、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録手段と、電話帳管理部に登録された電話番号をダイヤルする場合には電話帳管理部に登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行う通信制御手段とを設けたことにより、電話帳管理部すなわちその電子電話帳にプライバシーモードを設定することが可能となり、通話中のプライバシーモードを予め上記電子電話帳に設定されたモードとすることが可能なテレビ電話装置を実現することができる。

【0021】また、電話帳登録手段が、電話帳管理部に登録されたプライバシーモードの内容をキー入力操作により変更することが可能であるようにしたことにより、送信したくない画像を通話途中において送信停止とする

7

ことが可能なテレビ電話装置を実現することができる。

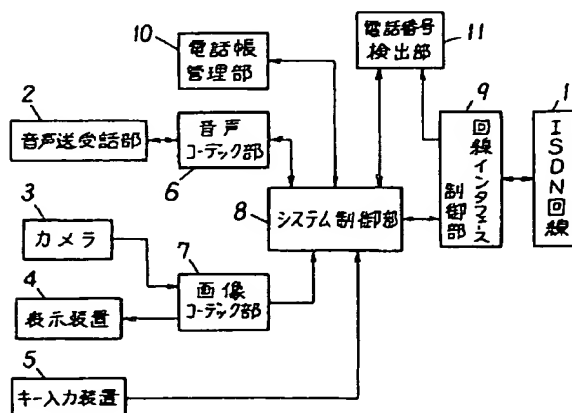
【0022】さらに、登録されたプライバシーモードがオンの場合には音声データのみを送信し、登録されたプライバシーモードがオフの場合には音声データと画像データを送信するようにしたので、予め設定されたプライバシーモードに基づいて、画像データを送信したり、送信しなかったりすることが可能なテレビ電話装置を実現することができる。

【0023】さらに、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録手段と、電話番号検出部で検出した電話番号が電話帳管理部に登録されているか否かを判定する一致判定手段と、電話番号検出部で検出した電話番号が電話帳管理部に登録されていると一致判定手段が判定したときには電話番号検出部で検出した電話番号に対応する情報に基づいて通信を行う通信制御手段とを設けたことにより、電話帳管理部すなわちその電子電話帳にプライバシーモードを設定することが可能となり、着信時においても通話中のプライバシーモードを予め上記電子電話帳に設定されたモードとすることが可能なテレビ電話装置を実現することができる。

【0024】さらに、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録ステップと、電話帳管理部に登録された電話番号をダイヤルする場合には電話帳管理部に登録された電話番号に対応する情報に基づいて発呼並びに通信を行う通信制御ステップとを有することにより、電話帳管理部すなわちその電子電話帳にプライバシーモードを設定することが可能となり、通話中のプライバシーモードを予め上記電子電話帳に設定されたモードとすることが可能なテレビ電話通信方法を実現することができる。

【0025】さらに、プライバシーモード、電話番号を電話帳管理部に登録する電話帳登録ステップと、検出し

【図1】



8

た電話番号が電話帳管理部に登録されているか否かを判定する一致判定ステップと、検出した電話番号が電話帳管理部に登録されていると判定したときには検出した電話番号に対応する情報に基づいて通信を行う通信制御ステップとを有することにより、電話帳管理部すなわちその電子電話帳にプライバシーモードを設定することが可能となり、着信時においても通話中のプライバシーモードを予め上記電子電話帳に設定されたモードとすることが可能なテレビ電話通信方法を実現することができる。

10 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例に係るテレビ電話装置を示す装置ブロック図

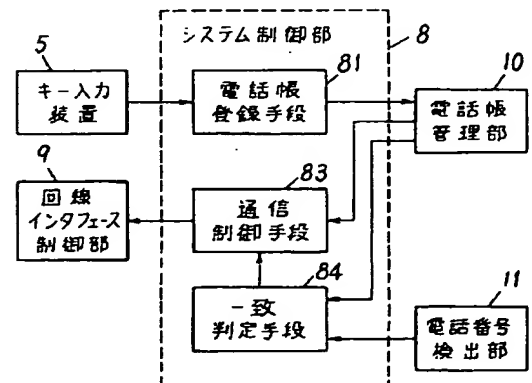
【図2】図1の装置を構成するシステム制御部における機能実現手段を示す機能ブロック図

【図3】本発明の一実施例に係るテレビ電話装置の動作を説明するフローチャート

【符号の説明】

- 1 ISDN回線
- 2 音声送受話部
- 3 カメラ
- 4 表示装置
- 5 キー入力装置
- 6 音声コーデック部
- 7 画像コーデック部
- 8 システム制御部
- 9 回線インタフェース制御部
- 10 電話帳管理部
- 11 電話番号検出部
- 81 電話帳登録手段
- 83 通信制御手段
- 84 一致判定手段

【図2】



【図 3】

